

令和 8 年度

大学院薬学研究科(博士前期課程)入学試験問題

専 門 科 目

『 機能性分子化学系特論 生命有機化学 』

令 和 8 年 2 月 21 日

受 験 番 号	氏 名

【問 1】

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。

【問 2】

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。

【問3】

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。

【問4】

入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題並びに解答は公開していません。

出題意図

この問題群は、有機化学の反応機構の理解や反応生成物の構造を問うものである。問 1・問 2 では生物有機化学に関連し、酵素のアミノ酸残基による触媒作用や反応中間体を含めた化学的機構の変化を、有機化学の反応機構の観点から理解しているかを評価する。問 3・問 4 では、Grignard 試薬やアルケン反応などの有機反応において、主生成物を正確に予測する力を測る。総じて、単なる暗記ではなく、反応の本質を分子・電子レベルで論理的に理解できるかが出題の意図である。